

25日にあっせん確認

水俣病補償処理委 最終的な詰めに

者、会社側役員など計二十人程度
の出席を求めるが、あっせんの
内容いかんによつてはあっせん工
作が深夜におよぶことも予想され
ている。

水俣病補償処理委員会（千種選
夫座長）は十九日夕刻から二十日
にかは、東京・永田町の町村会館
で四十三回目の会合を開き、水俣
病患者家庭互助会の調停派（山本
亦由会長、六十四世帯、七十五
人）に対するあっせん案をめぐつ
て最終的な詰めの話し合いを行な
った。

あっせん内容は明らかにされて
いないが、この最終検討の結果、
同委員会としては予定通り二十五
日午前九時すぎから患者、チツソ
（会社）双方の代表を東京に招い
てあっせん案を提示し、補償問題
に決着をつけることを確認した。
あっせん案提示に当たっては患
者代表十三人と、水俣市の関係